

「S.O.P地球温暖化」を節電で

秦野市立大根中学校二年 齋藤 匠

毎日家にげなく使っている様々な物。その
全てが電気が無いと成立しないといつても
過言ではないがもしれませんか。夜、活動する
為に必要な照明。世の中で起きたことを知る
のに役立つテレビやパソコン。人と連絡を取
り合える電話。これらは全て電気によって作
動する我々の生活に必要なものです。
しかし実は、電気によって作動するものであ
るだけでも、電気と関わりがあるものが、人間の
周りには多くあります。物を書くのに使われ
る鉛筆やペン。又書かれる紙。家の中にある
家具等。これらは、使う時には電気を必要と
しません。が、原料を用意したり、加工したり
する事に電気を使っているのです。

そんな人間の生活に密着した電気が今、地
球温暖化の原因になっていきます。電気の約90
%は、物を燃やすことによつて発生した熱エ
ネルギーを利用する、火力発電や原子力発電

によつて作られています。物を燃やると、二酸化炭素が発生します。二酸化炭素は、地球温暖化を起こす温室効果ガスの一種です。つまり、電気を使えば使うほど、地球温暖化は進行するのです。しかし電気はもはや生活に欠かすことができません。そこで現在、太陽光等新しいクリーンエネルギーや、省電力の少ない製品が開発されています。

けれども僕は、これには限界があると思います。なぜなら多くのクリーンエネルギーは天候等に左右されやすく、又新しい製品の開発や生産には少なからず電気が必要だからです。そこで僕は、一人一人が電気の大切さを考えて、省エネ活動をするのが地球温暖化を防げる唯一の方法だと考えました。しかし世界的億人の人々が全員一斉に省エネを行うのは不可能です。だから僕自身が、使わない電気を消す、夜ふかしをしない等、身近な小さなことから、節電を心がけたいです。そして地球にやさしい生活を送りたいです。